

パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ 55-1 系統に係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての御意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 平成 21 年 5 月 28 日～平成 21 年 6 月 26 日

2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送

3. 提出状況 1 通

4. 御意見・情報の概要及び遺伝子組換え食品等専門調査会の回答

	御意見・情報の概要	遺伝子組換え食品等専門調査会の回答
1	1996 年より USDA から栽培許可を受け、97 年に FDA から食品としての安全認可を受け、1999 年以降米国内で販売されていること等に鑑みれば、これだけの期間にわたって流通しており、健康被害などの大きな問題が生じていないことを考慮すべきではないか。	評価書（案）にも記載しているとおり、米国における状況等も踏まえ、総合的に評価を行っています。
2	リスク評価を適性に行うことは当然ですが、むしろリスクコミュニケーション、リスク管理の面で、政府にしっかりとした対応をとるように要望します。食品安全委員会としては、消費者等に対する十分な説明責任を有していることを自覚し、リスク管理機関との適切な役割分担・連携を図ることを求めます。	今回食品健康影響評価を行ったパパイヤのみならず、遺伝子組換え食品全般について、意見交換会の実施や季刊誌で特集するなど、安全性について情報提供を行っているところですが、今後とも、いろいろな機会を利用してリスクコミュニケーションに努めて参りたいと考えています。
3	日系人、日本人が多いハワイにおいて、GMO パパイヤが出回り、それなりに人気を得ていることを認識すべき。 専門調査会としては長期間にわたって審査を続け、アメリカ側の関係者に厳しい資料の再提出を求めるなど、厳正な姿勢で臨んできたと言えるのではないかと。 実際に、「パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ」を食してみた印象としては、non-GMO パパイヤとなんら変わることもなく、大変おいしく感じられた。問題があるものとの印象は得られなかった。	御意見をいただき、ありがとうございました。